

群馬県 臨江閣と富弘美術館の旅…

旅行部長 宮川修一

11月12日午前8時20分 秋晴れの下、37名の参加でグリーンホールを出発。

今回は、前橋市の国重要文化財「臨江閣」とみどり市の富弘美術館を訪ねるバス旅です。



臨江閣は県の迎賓館として明治17年建造の歴史的建物で、戦後は市の公民館への利用を経て耐震工事後の平成29年から一般公開されています。別館2階には180畳の大広間があり、当時の建築技術の粋を集めた和風木造の空間に圧倒されました。

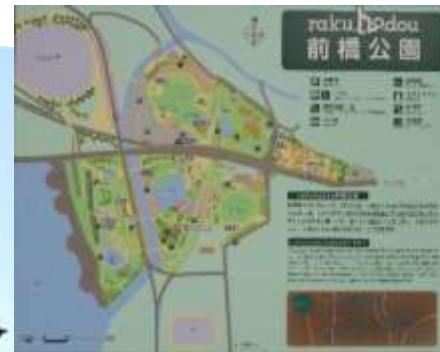
富弘美術館は茂木会長ご推奨のコースで、本年4月に亡くなられた星野富弘さんが残した数々の草花の絵と詩の作品が、心に染み入るように展示され、作者の生命へのやさしさと情熱に心を打たれる思いでした。美術館の周囲には遊歩道があり、紅葉の草木湖を眺めながらの散策も楽しめます。



前橋市 晴天の「臨江閣」にて

帰路で昨年オープンした道の駅まえばし赤城に立ち寄り、ぐんま名月などのお土産を買って、皆で楽しい一日を過ごしました。

前橋市 晴天の「臨江閣」にて



みどり市 紅葉の「富弘美術館」にて



みんなが楽しみ… ランチ「上州御用鳥めし 登利平」にて

